

令和6年度から、大竹小学校の校長として着任しました まなべ かずあき 真鍋 和聡です。よろしく願いいたします。

校長として、まず、本校の教育活動のベースとして、大きく2つを大切に考えています。

1つめは、「一に安全、二に学力」です。施設・設備等の安全面はもちろん、暴力やいじめなどによって、安全が確保できなければ、子供たちは「勉強をがんばろう」、「運動をがんばろう」という意欲は高まりません。安全面においては、未然防止及び早期発見、早期解決の取組を大切にしていきます。

2つめは、地域があつての学校ということです。保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様の学校教育へのご理解及びご協力がなければ、学校教育も前に進みません。家庭教育や地域の教育、学校教育はお互いに影響し合っています。連携を密にしながら、同じ方向を向いて子供たちを共に育てていきたいと考えています。どうぞ、よろしく願いいたします。

これら2つのことをベースに、本年度も学校教育目標を次のように設定し、教育活動を進めてまいります。

「みんなで伸びる ～トライ&サポート～」

「みんなで」：みんなといっしょに、みんなとかかわりあつて

「トライ」：目標を決めてやってみる（挑戦）

「サポート」：挑戦している人を応援できる

まずは、「挑戦」です。「迷わず行けよ 行けばわかるさ」ということです。迷ったら「むずかしいこと、めんどくさいこと、つらいこと」など、大変そうな方を選ぶように仕組み、子供たちが挑戦し成長を実感する、そして次の挑戦への意欲を高める取組を、教育活動全体を通して行ってまいります。

さらに、その挑戦に対して、子供たちどうしで教え合ったり、助け合ったり、競争し合ったりして、「みんなで伸びる」という学校教育目標の達成に向けて取り組んでまいります。

また、本年度は、広島県教育委員会より「『学びの変革』チャレンジ加配」をいただき、とりわけ、算数科において、日常的に取り組むことのできる個別最適な学びとなるような取組を精緻化し、本校の課題の一つである「考えたことを表現できる力」を子供たちに培っていきたいと考えています。

保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様、令和6年度も大竹小学校をよろしく願いいたします。

大竹市立大竹小学校  
校長 真鍋 和聡